

③目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成する時期 |
|------|-------------------------------|---|--|---|--|
| 1 | 10 16 20 23 48 | <ul style="list-style-type: none"> 入居者さんがその人らしく、ゆったりと暮らせるようなケアができていますか。 馴染みの人や、地域とのつながりを持ちながら生活ができていますか。 グループホームならではの、楽しみ、うるおい、アットホームな暮らしができていますか。 | <p>①「入居者さんに心から笑ってほしい」入居者さんの声を聞き、思いを知り、それが生きる毎日をめざす。</p> <p>②グループホームらしい楽しさと、アットホームな暮らしを入居者さんに送ってもらう。</p> | <p>①思いや声を、カンファレンスごとに確認。</p> <p>①行事が入居者主体になるよう工夫。</p> <p>①ご家族と職員個々のコミュニケーションを増やす</p> <p>②家族との散歩や外出をサポート。</p> <p>②レクリエーションを入居者が選べる工夫。</p> <p>②できることからコツコツと(食事づくりへの参加、散歩、買い物、入浴剤、ほっこりお抹茶タイム)。</p> | <p>4月～6月</p> <p>4月～9月</p> <p>4月～9月</p> <p>4月～9月</p> <p>4月～9月</p> <p>4月～12月</p> |
| 2 | 6 18 36 38 | <ul style="list-style-type: none"> 「本人の意向の尊重」「人格の尊重」「プライバシーの確保」「入居者との関係性」「その人らしい暮らし、馴染みの人・場所との関係継続」などの評価が低い。 できていることもあるので、自らに厳しいのか、自信を持ってずに仕事をしているのか。 | <p>入居者さんが求める介護職員像を自ら考え、その目標に一步步進む。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 入居者にとって「傍にいてくれて嬉しい職員」に、段階的になっていく。 <ol style="list-style-type: none"> 1)入居者が求める介護職員像を考える。 2)どのような方法なら身につくか考える。 3)考えた方法を実施する。 4)1年で変化があったか評価する。 虐待の芽チェックリストの継続(5月・9月・1月)。 | <p>4月～6月</p> <p>7月～9月</p> <p>10月～12月</p> <p>1月～3月</p> <p>4月～3月</p> |
| 3 | 11 12 27 53 | <ul style="list-style-type: none"> 運営に職員の意見・提案が反映されていないとの評価。 将来に渡って職員が生き生きと働くことができ、人が集まる職場であるのか、危機感がある。 | <p>活力ある介護職場を創っていく</p> <p>①職員の提案が生かされ、前向きな話し合いの中から希望の家が動いていることを実感できる職場づくり。</p> <p>②人でなければできないことと、効率化が図れる業務を見分けながら、5年先も人が集まる職場づくり。</p> | <p>①職員会議でのグループワークの活用。</p> <p>①運営への職員の提案の実現(メンタルケア、設備更新、事業所間の不平等感の是正)。</p> <p>①提案を生かす方法の検討(例:目安箱)</p> <p>②2番館オープンからの3年を評価し、職員体制、会議の方法、業務分掌を見直す。</p> <p>②記録のデジタル化を使いこなし、入居者と職員ともに良い結果となるように努力。</p> <p>②人が集まる職場づくり(育成プログラムの更新、有給休暇の平等な取得、若年の採用活動)。</p> | <p>4月～6月</p> <p>4月～12月</p> <p>7月～9月</p> <p>4月～6月</p> <p>4月～9月</p> <p>4月～3月</p> |
| 4 | 1 2 3 13 29 49 | <ul style="list-style-type: none"> 法人設立20年。創設者・上田理事長の理念に込めた思いが、今を働く職員につながっているか。 | <p>法人理念と目標</p> <p>①ゆったりとその人らしさを受けとめる →穏やかな時間の提供と個別ケア</p> <p>②常に自分をふり返る →チームの底上げを図る研修・自己研鑽</p> <p>③地域福祉活動への積極的参加と推進 →入居者が地域にとけこむ。事業所が地域で有用になる</p> | <p>①優先順位1、2の目標達成計画を実施する。</p> <p>②職員会議の中でミニ研修をする(処遇改善、認知症ケア、身体介護、研修報告、)。</p> <p>②20年をふり返り、次へ踏み出す学びの機会。</p> <p>③「地域とのつながり結び直しの1年」と位置づけ、出かける、来てもらう両方で積極的に活動する。</p> <p>③中学生職場体験、赤ちゃんボランティア、学童さんとの交流、インターンシップは、次世代との関わりとして力を入れる。</p> | <p>4月～12月</p> <p>5月～1月</p> <p>7月～11月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。